要請番号（SL25122C01）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
パナマ	B221 海運・航海		個別	新規 6代目	2年	・2022/4・2023/1・2023/2 ・2023/3

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

パナマ国際海事大学

2）配属機関名（日本語）

パナマ国際海事大学

3）任地（ パナマ県パナマ市 ） JICA事務所の所在地（ パナマ県パナマ市 ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 徒歩 で 約 0.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

配属先は、旧パナマ航海学校を母体に2005年12月に新設された国立大学で、パナマ随一の船員教育機関である。2008年から専門課程が開始された。現在は航海科学学部、海運学部、海洋科学学部、海洋土木工学部を有しており、国際海事大学協会(IAMU)に加盟している。JICAは旧パナマ航海学校時代の1993年から1998年まで、パナマ航海学校強化プロジェクトを実施し、専門家派遣、研修員受け入れや機材供与を行った。その後も継続して研修員受け入れなどを行っている。その他、外国民間海運会社からの援助も多い。年間予算は約1,000万ドルである。https://www.umip.ac.pa/

【要請概要】

1）要請理由・背景

上記のプロジェクトにおいて、技術面・機材面での協力が実施されている。その後は、シニア海外ボランティアによる技術支援も行われ、前身のパナマ航海学校を含め、これまでに13名のシニア海外ボランティアが派遣されている。学士過程では、船員の免状取得、修士課程では、船員としてのさらに高度な技能、知識の習得を目指すと同時に、航海、海運産業全般における専門人材として就業、活躍できる人材の養成が行われている。今回は、そのカリキュラムや授業内容の作成・改善に必要な支援のために、商船乗員として十分な経験を有するとともに、船員教育・人材育成のプログラムの見直し、更新改善支援ができるボランティアを要請されたものである。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

航海学科にて下記の活動を行う。
1. 現役船員、学生や教員を対象に、航海技術(主に甲板部門だが、通信が含まれる)の指導、講習補助を行う。教員対象の講習は英語で行う。(講義の中にて、補完的に、経験に基づいた実務アドバイスを実施したり、教員に対しては、日本等他国での指導法などの紹介を通じた助言・講習を行うことが期待される。)
2. シミュレータやラボ内機材の保守点検に係る指導を行う。
3. 修士課程のカリキュラムや授業内容の改訂について助言を行う。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

各種シミュレータ(船舶運航、通信-GMDSS-、レーダー、液体積荷、ECDIS)、練習船(運航部分)

4）配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚: 航海科学学部長
航海学科長(50代修士、経験20年以上)

活動対象者: 航海学科教員、学生及び現役船員

5）活動使用言語	6）生活使用言語	7）選考指定言語
英語	スペイン語	英語(レベル:A)

【資格条件等】

[免許]：（　　）

[性別]：（　　）　備考：

[学歴]：（修士）理工系　備考：海事系。大学教員を指導するため

[経験]：（実務経験）10年以上　備考：なるべく商船船長経験。指導に必要

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候）　気温：（25～35℃位）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[電気]：（安定）

[水道]：（安定）

【特記事項】

活動言語は英語であるが、訓練は生活言語(スペイン語)で行う。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.